

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

□の数字は、教科書のページ数です。

2年 「ありがとう」をつたえよう □ 66～70

「ありがとう」の気持ちが
しっかり伝わる手紙を
書こうね。

- 感謝の気持ちを伝える**手紙**を書くことを通して、手紙の書き方を学びます。
- 1 どんなことを書くかを決める。
- どんなことを書くか、自分の気持ちが相手に伝わるか考える。
- 2 手紙を書く。
- 相手の名前と自分の名前を書く。
- 伝えたいことをよく思い出して、ていねいに書く。
- 声に出して読み返して、字や言葉の使い方に間違いがないかを確認する。

1年 おとうとねずみ チロ □ 67～80

- きょうだい三匹で暮らしているねずみのチロの物語です。
- 1 おばあちゃんから、「チョコッキを編んでいる」という手紙が届く。でも、兄さんねずみと姉さんねずみから、チロの分はないと言われ、心配になる。
- 2 チロがおばあちゃんに、
- 「ぼくにもチョコッキを編んでね。」
- と呼びかける。
- 3 おばあちゃんから小包が届く。
- 場面ごとのチロの様子や気持ちを想像します。



4年 「ふるさとの食」を伝えよう □ 54～59

読み手に良さが伝わるように、紹介する理由をはっきりさせて、具体的な事例を挙げて書こう。



- 地域に伝わる料理や特産品など、「ふるさとの食」の良さを伝えるリーフレットを作ります。
- 1 おすすめしたいものを決める。
- 2 おすすめしたいものの良さがわかる事例を、調べたり聞いたりして集め、整理して、ふさわしいと思うものを選ぶ。
- 3 割り付けを考える。
- 文章の組み立てと割り付け
- 写真や絵などの使い方
- 4 リーフレットを作る。

3年 自分の考えをつたえよう □ 60～65

- 自分の考えたこととその理由を明らかにして、説明する**文章**を書く学習をします。
- 「お礼の気持ちをつたえるには、手紙がよいか電話がよいか」
- 1 自分の考えを持つ。
- 2 理由を整理する。
- そう考える理由を、メモに書き出す。
- 3 文章の組み立てをする。
- 考えとその理由を順序立てて書いための組み立てメモを作る。
- 4 文章を書く。
- 「二つ目は」「二つ目は」「はじめて」「次に」など、順序を表す言葉を使うと、わかりやすいよ。



6年 いにしえの言葉に学ぶ □ 196～201

- 古典に触れる楽しさを紹介した**説明文**を手掛かりにして、昔の言葉を味わい、自分の考えを文章にします。
- 【「昔の人からの手紙」(説明文)】
- 「徒然草」の中の本登り名人の言葉。
- 古典を昔の人からの手紙だと思って親しんでほしい。
- 【いにしえの言葉を味わおう】
- 初心忘るべからず。
- 天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずといへり。
- なせば成るなさねば成らぬ何事も成らぬは人のなさぬなりけり
- ...

5年 反対の立場を考えて意見文を書こう □ 186～191

- 反対意見の人を説得するためにはどのような**意見文**を書けばよいかを考えます。
- 1 話題に対する自分の考えを整理し、意見とその理由をメモにまとめる。
- 2 反対意見を予想して対応をメモする。
- 3 1と2のメモをもとに、意見文の構成を考え、メモにまとめる。
- 4 構成メモをもとに意見文を書く。
- 5 意見文を友だちと読み合い、感想を伝え合う。
- 反対意見への対応を考えることで、自分の意見も深めることができるんじゃない。

